

# ECHO

**Vol. 15** 第28期事業報告書  
平成14年4月1日～平成15年3月31日



# TOP MESSAGE

## ● 株主の皆様へ



代表取締役会長  
**保志 忠彦**



代表取締役社長  
兼最高執行役員  
**米田 龍佳**

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

また、平素は当社の事業活動に対し格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

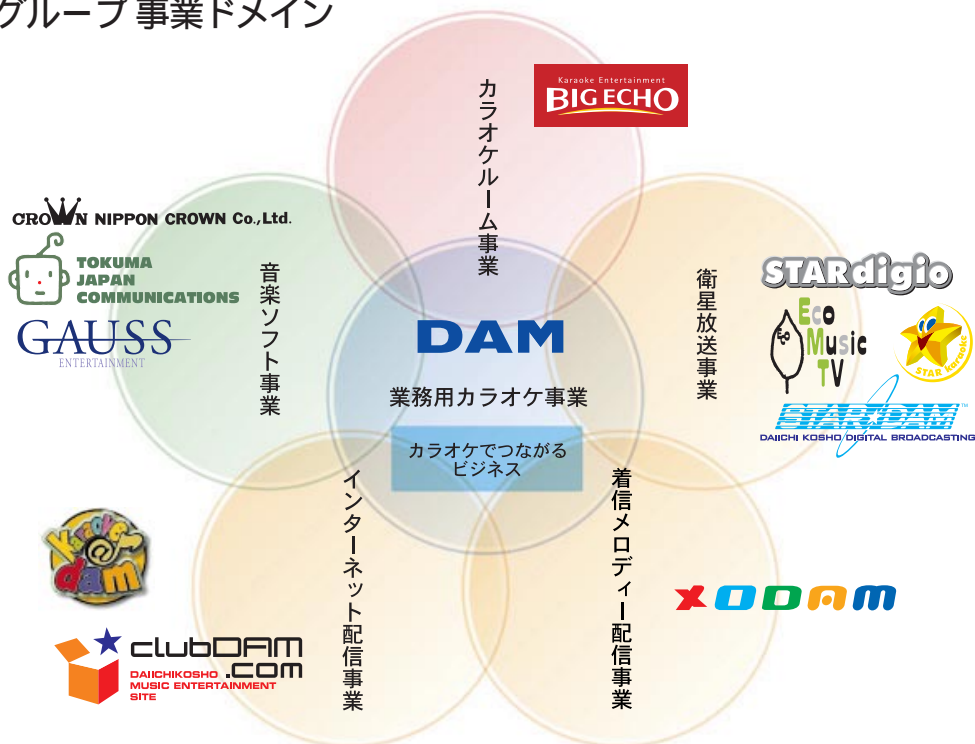
ここに第28期（平成14年4月1日から平成15年3月31日まで）の事業報告書をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

当社及び第一興商グループは、創業以来、カラオケを通じて親しみのある音楽文化の振興とコミュニケーションの場を提供することを使命とし、これを実践してまいりました。お蔭様でカラオケは、単なる娯楽の域を超え、老若男女を問わず楽しめる日本発の文化として認知され、メディアがめまぐるしく移り変わるなかにあっても、当社グループは常にリーディングカンパニーとして業界の発展と活性化に寄与してきたものと自負しております。

昨今におきましては、デジタル放送、携帯電話、インターネット、ブロードバンドネットワークなど先進の情報ネットワークが整備されつつあります。当社グループは、これら先進技術に対応するサービス体制とコンテンツの重要性に常に着目し、強力で魅力あるコンテンツの創造とカラオケ事業をはじめとするあらゆる音楽事業を通じたサービスの提供に向け、積極果敢に取り組んでおります。

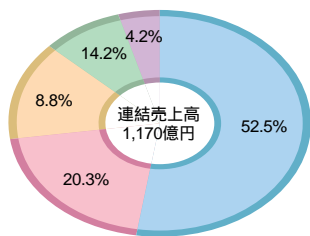
なお、平成15年6月25日に開催された定時株主総会後の取締役会におきまして、前代表取締役社長の保志忠彦が代表取締役会長に、前専務取締役の米田龍佳が代表取締役社長に選任され、それぞれ同日付で就任いたしましたことをご報告いたします。新経営陣は一丸となり、社業のより一層の発展に向け邁進する所存であります。株主の皆様におかれましては、何卒変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

## ● 第一興商グループ 事業ドメイン



### 連結売上高構成比

2003年3月期



- 業務用カラオケ事業
- カラオケルーム運営事業
- コンテンツ事業
- 音楽ソフト事業
- その他の事業

#### 業務用カラオケ事業

業務用カラオケ機器・カラオケソフトの販売及び賃貸、並びに通信カラオケへの音源提供を行っております。

#### カラオケルーム運営事業

カラオケルーム「ビッグエコー」を国内で190店舗、海外で2店舗展開しており、ルームの運営とともに飲食の提供を行っております。

#### コンテンツ事業

衛星放送事業では衛星デジタル放送「スカパーフェクTV」をプラットフォームとし、テレビ2ch、ラジオ100chのサービス、eビジネス事業では主に携帯電話向け着信メロディー配信サービスを行っております。

#### 音楽ソフト事業

音楽レコード会社3社及び販売会社1社において音楽、映像ソフトの制作、販売を行っております。

#### その他の事業

不動産賃貸事業、飲食事業ほかを行っております。

## 業務用カラオケ事業

通信カラオケ「DAMシリーズ」は、その機能と抜群の信頼性で高い評価を獲得し、市場シェアでトップを誇ります

通信カラオケ市場における当社のDAMシェアは44%（当社推定）を超え、そのなかでも、主力商品であるNEWサイバーDAM（DAM-G50II）は毎月500曲配信はもちろんのこと、多彩なゲーム機能も充実しております。今後はブロードバンドの特性を活かしてJ-POP、演歌など幅広いジャンルの歌手本人映像やオリジナル映像も配信してまいります。

カラオケ周辺機器においても、目次本とリモコンが一体化した電子目次本「デンモク」の評価は高く、2002年度グッドデザイン賞を受賞いたしました。

今後もお客様のニーズに応えるべく更なるサービスの充実に努めてまいります。



### NEWサイバーDAM (DAM-G50II)

総楽曲数 約37,500曲  
「DAM」市場開局台数 約166,000台  
(2003年3月末現在)



### デンモクバージョンアップ!!

外国語対応(韓国語・中国語検索可能)  
事前に原曲キーや指定キー予約が可能  
メドレー曲名表示機能



### 多機能リモコン「Coデンモク」新発売!!

デンモクの後継機  
楽曲検索が可能  
文字が大きく画面が明るい  
歌い出し8文字表示

## カラオケルーム運営事業

「ビッグエコー」は歌う空間を演出し、更なるサービスの向上を目指します

当社グループでは、駅前や繁華街を中心に全国で190店舗の「ビッグエコー」を展開しており、今後も歌う楽しさを提供してまいります。

(2003年3月末現在)

ビッグエコー「浅草店」

2002年12月オープン  
全ルームにNEWサイバーDAM (DAM-G50) と電子目次本「デンモク」を完備



ビッグエコー浅草店



## 社会貢献活動

ビッグエコーでは60歳以上の団体のお客様に平日無料でカラオケを楽しんでいただくサービス「いきいきカラオケ広場」を行っております。第一興商は音楽の楽しさを広めるため積極的に社会活動を推進してまいります。



実施店舗

ビッグエコー五反田店  
TEL 03-5798-2511

ビッグエコー新宿大ガード店  
TEL 03-3364-6281

\*詳しくは店舗までお問い合わせください

### ご参考!【2002年度 通信カラオケ「DAM」の人気カラオケランキング Best 3】曲名/歌手名/リクエスト No

J-POP	1位	亜麻色の髪の乙女/鳥谷ひとみ/6096-09	2位	小さな恋のうた/MONGOL 800/6878-04	3位	あなたに/MONGOL 800/6878-03
演歌	1位	北空港/浜圭介・桂銀淑/2668-01	2位	居酒屋/五木ひろし・木の実ナナ/1867-01	3位	天城越え/石川さゆり/2303-03

## 音楽ソフト事業

ヒット曲を生み出す体制を構築してまいります

2002年9月12日に日本クラウン(株)と(株)徳間ジャパンコミュニケーションズ出資の新会社(株)ファーストディストリビューションを設立し、両社の営業部門を移しました。これにより、音楽ソフトの販売体制の強化と業務の効率化に取り組んでまいります。また、今後は当社グループを活用した独自の企画・制作・販売体制を構築し、テレビやCMを通じてヒット曲を生み出してまいります。

所属アーティスト



北島三郎



Gackt

### 日本クラウン(株)

北島三郎  
デビュー40周年。シングル「北の男船」や自らプロデュースしたコンピレーションアルバム「流行歌」が好評発売中

Gackt  
独特の雰囲気若者に人気がありテレビやCMで大活躍！5月からコンサートツアーが始まり更なる活躍に期待



水森かおり



吉川晃司

### (株)徳間ジャパンコミュニケーションズ

水森かおり  
カラオケの定番曲として「東尋坊」がロングヒットし、第35回日本有線大賞・有線音楽優秀賞受賞。新曲「鳥取砂丘」も発売中  
吉川晃司  
プロモーションビデオにこだわった徳間移籍第1弾シングル「バンドーラ」が好評。その続編「The Gundogs」もDVDで発売中



小林旭

### (株)ガウスエンタテインメント

小林旭  
「酒挽歌」がカラオケで人気なことからファンの声を取り入れガイドメロディー付きで「酒挽歌 - マキシ・バージョン」を発売。5月には新曲「からす」を発売

## コンテンツ事業

企画性に富んだエンターテインメントサービスの提供を行ってまいります

当社が提供する携帯電話サイト(i-mode及びEZweb)の利用者数は、約525万人と堅調に伸長しております。

今後もサービスの拡充を図り、会員獲得に努めてまいります。

新サービス開始

メロDAMサイト内に動物の声を着信メロディーとして提供する「着吠え」を追加  
2003年4月からJ-スカイ(J-Phone)でもメロDAMサービスを開始



着吠え

【メロDAM人気着信メロディーランキング Best 3】 曲名 / 歌手名 / メロディー No

1位	世界に一つだけの花 / SMAP / 106940
2位	SAKURAドロップス / 宇多田ヒカル / 101947
3位	亜麻色の髪の乙女 / 島谷ひとみ / 103610

新番組

第一興商グループ提供番組

4月より放送中

PRO-file(プロ・ファイル)~デビュー・ノートビラ~

番組の「登録ファイル」から人選したアーティストを育成しデビューするまでの全過程を、音楽業界の裏側を見せながら紹介する新型オーディションドキュメントバラエティー。  
番組宣伝・企画推進に第一興商グループが協力。



放送エリア/日時

テレビ朝日(関東)	4/2~ 毎水曜 24:51~25:21
朝日放送(関西)	4/7~ 毎月曜 25:21~25:51(1週遅れ)
名古屋テレビ(愛知)	4/8~ 毎火曜 25:18~25:48(1週遅れ)
九州朝日放送(福岡)	4/10~ 毎木曜 25:40~26:10(1週遅れ)
北海道テレビ(北海道内全域)	4/9~ 毎水曜 26:02~26:32(1週遅れ)
琉球朝日放送(沖縄)	4/9~ 毎水曜 24:46~25:16(1週遅れ)
秋田朝日放送(秋田)	4/18~ 毎金曜 16:30~17:00(2週遅れ)

## ● 営業の概況（連結）●

### 当期の概況

当期のわが国経済は、底堅い個人消費への期待から一時的には明るい兆しが見えたものの、輸出の伸び悩みや雇用環境も改善されないなか、イラク情勢の緊迫化が加わり、株価も下落するなど前期にも増して厳しい状況で推移いたしました。

当カラオケ業界におきましても、長引く景気低迷から主力のナイト市場やカラオケボックスなどデイ市場の経営環境は厳しく、店舗の淘汰やメーカーの生き残りをかけた企業合併などが進行する一方、商品やサービスの低価格競争も一段と激化いたしました。

このような環境のなか当社グループは、更なるシェアアップを目指し、主力商品「サイバーDAM」と目次本とリモコン機能を一体化させた電子目次本「デンモク」を中心に販売及び賃貸の拡大に注力いたしました。カラオケルーム運営事業では、利益率の向上のため新規出店と不採算店の閉店に慎重かつ積極的に取り組んでまいりました。衛星放送事業では、民生契約の漸減傾向を業務契約の増加で補うよう努め、また、携帯電話向け着信メロディー配信を中心としたeビジネス事業では、サービスの拡充と各種媒体による積極的な販促活動を実施し契約数の増加に努めてまいりました。音楽ソフト事業につきましては、新たに子会社2社の出資により販売会社を設立し営業力の強化と効率化を図り収

益の向上を目指してまいりました。

以上の結果、当期の売上高は117,057百万円と前期比18.7%の増収となり、また、利益面におきましても営業利益が前期比31.4%増加の12,493百万円、営業外収支のマイナスを営業増益で吸収し経常利益が前期比28.2%増加の10,831百万円といずれも大幅な増収増益を達成いたしました。

一方、特別損失において連結調整勘定償却額1,742百万円の計上を行ったものの、主として過年度に再評価した土地の売却により発生した法人税等調整額2,499百万円を加算し、当期純利益は前期比110.0%増加の6,938百万円となりました。

## 次期の見通し

今後の見通しにつきましては、不安定な国際情勢や国内外の景気不透明感などが重なり、企業の設備投資や個人消費の拡大が見込めず、当期にも増して厳しい状況が続くものと思われま

す。当業界を取り巻く経営環境も依然として厳しく、ナイト市場やデイ市場の店舗閉鎖や事業撤退が続くなど、市場における二極化はより鮮明になるものと思われま

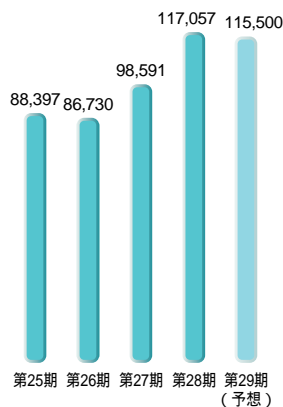
す。この様な環境のもと当社グループは、通信カラオケ市場におけるトップシェアをさらに拡大するため、商品の品質向上や差別化、サービス内容の充実を果敢に進めることにより次期におきましても当期同様積極的な商品出荷を目指してまいります。カラオケルーム運

営事業におきましては、立地を厳選した新規出店と不採算店処分を積極的に推進し、サービス向上による来店客数の増加に努め、収益性と投資効率の向上に取り組んでまいります。衛星放送事業につきましては、早期黒字化のため業務用サービスの契約増加とコストの低減に努めるとともに、eビジネス事業におきましても、収益拡大のため効果的な販促活動とサービスの拡充を行い加入件数の増加に努めてまいります。一方、音楽ソフト事業におきましては、各種施策を迅速に具体化し収益の向上に努めてまいります。

以上の諸施策を実行することにより、次期の業績については売上高1,155億円、経常利益117億円、当期純利益57億円を計画しております。

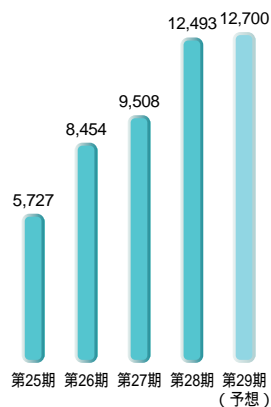
連結売上高

(単位：百万円)



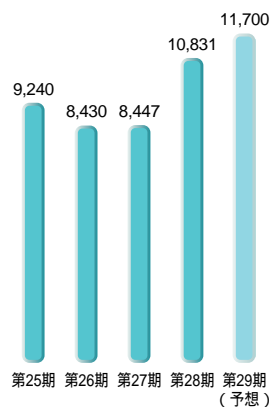
連結営業利益

(単位：百万円)



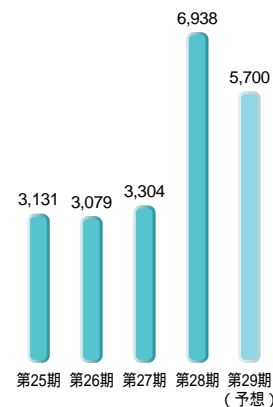
連結経常利益

(単位：百万円)



連結当期純利益

(単位：百万円)



## ● セグメント別概況 ●

セグメント	業務用カラオケ事業	カラオケルーム運営事業	コンテンツ事業	音楽ソフト事業	その他の事業
売上高(百万円)	61,498	23,722	10,308	16,648	4,879
営業利益(百万円)	9,756	2,358	1,932	82	627

事業の種類別セグメントの概況は、以下の通りであります。

### 業務用カラオケ事業

売上高 61,498百万円(前期比 +14.4%) 営業利益 9,756百万円(前期比 +16.1%)

当事業におきましては、商品の低価格化やディスク型カラオケに供給する製品販売が減少するなか、上期においては「サイバーDAM」を、下期においてはブロードバンド対応の「NEWサイバーDAM」を中心に買換需要を取り込み、また電子目次本「デンモク」が好評であったことが奏功し、商品出荷台数が前期を48.0%上回るなど好調に推移いたしました。一方、ナイト市場の景気低迷が長引くなか、賃貸契約件数は増加したものの賃貸料の低下傾向は変わらず機器賃貸収入はほぼ横這いとなりましたが、通信カラオケの情報提供料収入が稼働台数の増加に伴い順調に伸長いたしました。この結果、売上高は前期比14.4%増加し、営業利益も前期比16.1%の増加となりました。



NEW *CyberDAM*



### カラオケルーム運営事業

売上高 23,722百万円(前期比 +7.9%) 営業利益 2,358百万円(前期比 +65.7%)

当社グループは国内で190店舗、海外で2店舗のカラオケルーム「ビッグエコー」の運営を行っておりますが、カラオケ参加人口が減少するなど厳しい経営環境が続くなか、当期は首都圏において2店舗の新規出店と同業他者から譲り受けた6店舗を新規開店する一方、利益率の改善を目指して不採算店15店舗を閉鎖いたしました。この結果、新店効果と前期売上高を上回る既存店の健闘もあり、売上高は前期比7.9%増加し、営業利益も前期比65.7%の増加となりました。





## コンテンツ事業

売上高 10,308百万円(前期比 +13.3%) 営業利益 1,932百万円(前期比 +53.1%)

衛星放送事業におきましては、民生用サービスの加入者数が漸減傾向にあるなかで、業務用サービスの加入件数が堅調に伸長いたしました。eビジネス事業におきましても、携帯電話向け着信メロディーサービスの低価格化が進んだものの、契約数は順調に増加いたしました。この結果、売上高は前期比13.3%増加し、営業利益も前期比53.1%の増加となりました。



## 音楽ソフト事業

売上高 16,648百万円(前期比 +82.8%) 営業利益 82百万円

当事業におきましては、音楽CD市場の低迷が続くなか、営業の強化と効率化を図るため新たに子会社2社の出資による販売会社「(株)ファーストディストリビューション」を設立いたしました。また日本クラウン(株)所属の「Gackt」のアルバムや(株)徳間ジャパンコミュニケーションズにおける「千と千尋の神隠し」の映像ソフトの販売好調が収益に大きく貢献いたしました。この結果、売上高は前期比82.8%増加し、営業損失も前期に比べ250百万円の改善となりました。

XODAM

CROWN NIPPON CROWN Co.,Ltd.



GAUSS  
ENTERTAINMENT

## その他の事業

売上高 4,879百万円(前期比 +4.8%) 営業利益 627百万円(前期比 9.9%)

当事業におきましては、飲食事業及び不動産賃貸収入が主なものであり、当期におきましては、これらの事業を中心に各事業が順調に推移したことから売上高は前期比4.8%増加したものの、売上原価率の上昇により営業利益は前期比9.9%の減少となりました。



# ● 連結決算概要 ●

## Point

### 流動資産

現金及び預金が3,967百万円増加したほか、繰延税金資産が2,657百万円増加するなど流動資産は4,951百万円増加いたしました。

## Point

### 固定資産

投資有価証券が1,253百万円減少したほか、再評価に係る繰延税金資産が2,251百万円減少するなど固定資産は4,088百万円減少いたしました。

## Point

### 負債の部

買入消却により転換社債が2,135百万円減少したほか、未払法人税等が1,438百万円減少するなど負債の部は3,911百万円減少いたしました。

## Point

### 資本の部

土地の売却により資本の部にマイナス計上している土地再評価差額金を15,184百万円取崩し、利益剰余金減少高といたしましたが、当期純利益6,938百万円により資本の部は5,641百万円増加いたしました。

## 連結貸借対照表の要旨

(単位：百万円)

科 目	第28期 平成15年3月31日現在	第27期 平成14年3月31日現在	対前期増減額
<b>資産の部</b>			
流 動 資 産	53,201	48,250	4,951
固 定 資 産	78,736	82,825	4,088
有 形 固 定 資 産	46,967	48,077	1,110
無 形 固 定 資 産	7,709	8,148	438
投 資 そ の 他 の 資 産	24,059	26,599	2,539
資 産 合 計	131,938	131,075	862
<b>負債の部</b>			
流 動 負 債	36,598	44,213	7,615
固 定 負 債	38,482	34,778	3,703
負 債 合 計	75,080	78,992	3,911
<b>少数株主持分</b>			
少 数 株 主 持 分	1,301	2,169	867
<b>資本の部</b>			
資 本 金		12,348	12,348
資 本 準 備 金		24,000	24,000
再 評 価 差 額 金		25,189	25,189
連 結 剰 余 金		38,889	38,889
その他有価証券評価差額金		352	352
為 替 換 算 調 整 勘 定		233	233
自 己 株 式		15	15
資 本 金	12,348		12,348
資 本 剰 余 金	24,000		24,000
利 益 剰 余 金	29,879		29,879
土 地 再 評 価 差 額 金	10,005		10,005
その他有価証券評価差額金	103		103
為 替 換 算 調 整 勘 定	135		135
自 己 株 式	700		700
資 本 合 計	55,555	49,914	5,641
負債、少数株主持分及び資本合計	131,938	131,075	862

記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 連結損益計算書の要旨

(単位：百万円)

科 目	第28期	第27期	対 前 期 比 (%)
	平成14年4月1日から 平成15年3月31日まで	平成13年4月1日から 平成14年3月31日まで	
営 業 収 益	117,057	98,591	118.7
営 業 費 用	104,674	89,189	117.4
割賦販売未実現利益	110	106	
営 業 利 益	12,493	9,508	131.4
営 業 外 収 益	1,798	1,688	
営 業 外 費 用	3,460	2,749	
経 常 利 益	10,831	8,447	128.2
特 別 利 益	492	588	
特 別 損 失	4,808	2,256	
税金等調整前当期純利益	6,516	6,779	96.1
法人税、住民税及び事業税	1,999	3,515	
法 人 税 等 調 整 額	2,499	97	
少数株主利益(又は損失)	76	138	
当 期 純 利 益	6,938	3,304	210.0

### Point

#### 営業損益

業務用カラオケ事業をはじめ全事業セグメントで増収となり、営業収益は前期比118.7%、18,466百万円の増収となりました。また、その他の事業の営業利益が僅かに68百万円減益となったものの、他の事業セグメントが増益となり営業利益は前期比131.4%、2,985百万円の増益となりました。

### Point

#### 当期純利益

過年度再評価土地の売却により法人税等調整額2,499百万円が加算され、当期純利益は前期比210.0%と大幅増益になりました。

記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

注記事項	第28期	第27期
1.有形固定資産の減価償却累計額	49,268百万円	50,716百万円
2.保証債務	1,136百万円	1,329百万円
3.担保提供資産	23,195百万円	22,550百万円
上記に対応する債務	22,809百万円	21,271百万円
4.1株当たり当期純利益	375円89銭	176円39銭
5.1株当たり株主資本	3,081円34銭	2,726円97銭

# ● 連結決算概要 ●

## 連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

(単位：百万円)

科 目	第28期	第27期
	平成14年4月1日から 平成15年3月31日まで	平成13年4月1日から 平成14年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	19,876	14,810
投資活動によるキャッシュ・フロー	14,286	11,206
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,076	5,638
現金及び現金同等物の期末残高	22,831	20,317

記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 連結剰余金計算書

(単位：百万円)

科 目	第28期	第27期
	平成14年4月1日から 平成15年3月31日まで	平成13年4月1日から 平成14年3月31日まで
連結剰余金期首残高		37,782
連結剰余金減少高		
配当金		656
役員賞与		88
再評価差額金取崩額		241
自己株式消却額		836
連結子会社の合併による減少高		375
計		2,197
当期純利益		3,304
連結剰余金期末残高		38,889
資本剰余金の部		
資本剰余金期首残高	24,000	
資本剰余金期末残高	24,000	
利益剰余金の部		
利益剰余金期首残高	38,889	
利益剰余金増加高		
当期純利益	6,938	
利益剰余金減少高		
配当金	658	
役員賞与	105	
土地再評価差額金	15,184	
計	15,948	
利益剰余金期末残高	29,879	

記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

# ● 単体決算概要 ●

## 貸借対照表の要旨

(単位：百万円)

科目	第28期	第27期	対前期増減額
	平成15年3月31日現在	平成14年3月31日現在	
資産の部			
流動資産	31,761	24,128	7,632
固定資産	50,785	57,331	6,546
有形固定資産	20,228	21,324	1,096
無形固定資産	7,087	6,204	882
投資等	23,469	29,802	6,332
資産合計	82,546	81,459	1,086
負債の部			
流動負債	15,258	19,318	4,060
固定負債	21,744	19,826	1,917
負債合計	37,002	39,145	2,142
資本の部			
資本金		12,348	12,348
資本準備金		24,000	24,000
利益準備金		485	485
再評価差額金		25,189	25,189
その他の剰余金		31,036	31,036
その他有価証券評価差額金		351	351
自己株式		15	15
資本金	12,348		12,348
資本剰余金	24,000		24,000
利益剰余金	19,999		19,999
土地再評価差額金	10,005		10,005
株式等評価差額金	99		99
自己株式	700		700
資本合計	45,543	42,314	3,228
負債・資本合計	82,546	81,459	1,086

記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 損益計算書の要旨

(単位：百万円)

科目	第28期	第27期	対前期比 (%)
	平成14年4月1日から 平成15年3月31日まで	平成13年4月1日から 平成14年3月31日まで	
営業収益	74,974	65,489	114.5
営業費用	66,855	59,461	112.4
割賦販売未実現利益	7	135	
営業利益	8,125	5,892	137.9
営業外収益	1,066	873	
営業外費用	1,681	1,434	
経常利益	7,510	5,332	140.9
特別利益	482	546	
特別損失	5,984	1,634	
税引前当期利益	2,009	4,244	47.3
法人税、住民税及び事業税	100	2,036	
法人税等調整額	2,441	188	
当期利益	4,350	2,019	215.4
前期繰越利益	598	644	
利益準備金取崩額	485		
土地再評価差額金取崩額	15,184	241	
自己株式消却額		836	
当期末処分利益(未処理損失)	9,750	1,586	

記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 利益処分

(単位：百万円)

科目	第28期	第27期
	平成14年4月1日から 平成15年3月31日まで	平成13年4月1日から 平成14年3月31日まで
当期末処分利益(未処理損失)	9,750	1,586
別途積立金取崩額	11,150	
合 計	1,399	1,586
これを次のとおり処分いたしました。		
利益配当金	683	658
(1株につき38円)	(1株につき36円)	
役員賞与金	36	30
(うち監査役賞与金)	(13)	( )
別途積立金		300
合 計	719	988
次期繰越利益	679	598

記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

注記事項	第28期	第27期
1. 有形固定資産の減価償却累計額	23,098百万円	23,520百万円
2. 1株当たり当期利益	238円37銭	107円82銭
3. 1株当たり株主資本	2,530円19銭	2,311円78銭

## 株式の状況 (平成15年3月31日現在)

会社が発行する株式の総数 59,560,000株

発行済株式の総数 18,310,370株

(注) 第1回無担保転換社債の転換により93株が増加いたしました。

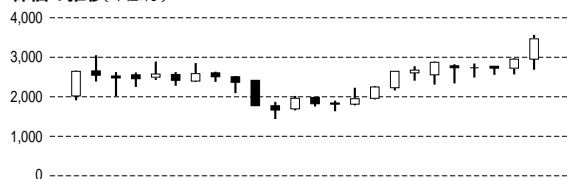
株主数 10,421名

大株主

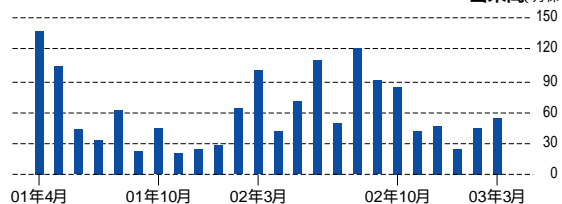
株主名	持株数(千株)	議決権比率(%)
保志忠彦	2,611	14.4
(有)ホシ・クリエート	1,433	7.9
日本マスタートラスト信託銀行(株)	1,377	7.6
保志忠郊	735	4.1
日本トラスティサービス信託銀行(株)	734	4.1
保志治紀	723	4.0
U F J 信託銀行(株)	473	2.6
バンクオブニューヨークヨーロッパ リミテッドルクセンブルグ131800	355	2.0

## 株価(月足)チャート

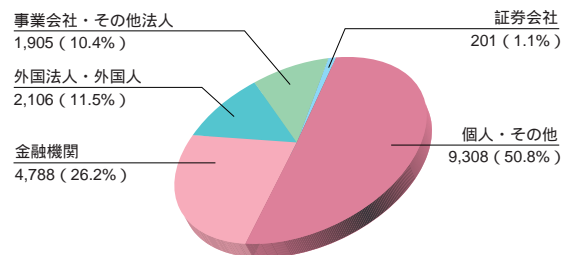
株価の推移(単位:円)



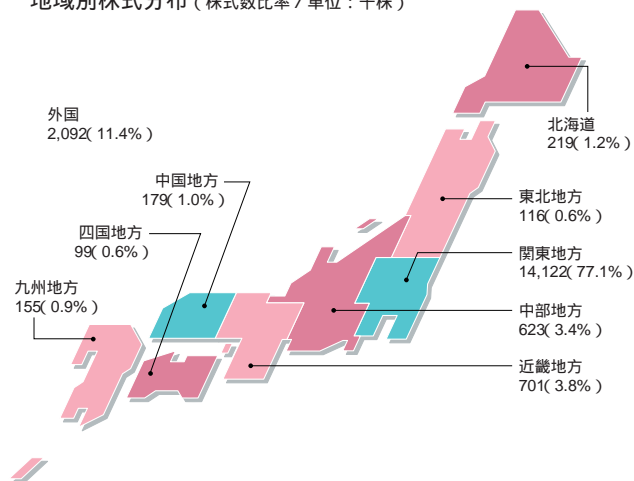
出来高(万株)



## 所有者別株式分布 (株式数比率 / 単位: 千株)



## 地域別株式分布 (株式数比率 / 単位: 千株)



## 会社概要 (平成15年3月31日現在)

商 号 株式会社 第一興商  
 (英文表記) DAIICHIKOSHO CO., LTD.  
 所在地 〒141-8701 東京都品川区北品川 5-5-26  
 TEL.(03) 3280-2151 (大代表)  
 設立 1973年4月16日  
 資本金 12,348百万円  
 従業員数 当社 1,186名  
 グループ 2,813名  
 店頭登録 1995年9月19日  
 ホームページアドレス <http://www.dkkaraoke.co.jp/>



## 役員 (平成15年6月25日現在)

代表取締役会長	保志忠彦
代表取締役社長	兼最高執行役員 米田龍佳
常務取締役	兼上席執行役員 興水慎一
常務取締役	兼上席執行役員 松川伸一
常務取締役	兼上席執行役員 三野浩
取締役	兼執行役員 林三郎
取締役	兼執行役員 緑川智博
取締役	兼執行役員 畑英爾
常勤監査役	石川樹
常勤監査役	田村晴彦
常勤監査役	高瀬信行
監査役	高橋久美子
監査役	有近真澄
執行役員	有馬伸治
執行役員	檜原敬親
執行役員	鈴木康
執行役員	原本恒之
執行役員	山田裕治
執行役員	貞末俊一
執行役員	有馬修
執行役員	熊谷達也
執行役員	三宅彰
執行役員	黒川憲太郎
執行役員	村井裕一
執行役員	和田康孝
執行役員	園田彰一

## 第一興商グループ 当社及び連結子会社 **38** 社

(平成15年3月31日現在)

主な事業内容：業務用カラオケ事業 / カラオケルーム運営事業 /  
 コンテンツ事業 / 音楽ソフト事業

### 国内販売子会社 23社

(株)北海道第一興商	(株)城北第一興商	(株)コスモ第一興商
(株)釧路第一興商	(株)台東第一興商	(株)第一興商近畿
(株)小樽第一興商	(株)城東第一興商	(株)京都第一興商
(株)道南第一興商	(株)第一興商販売	(株)ハリマ第一興商
(株)東北第一興商	(株)湘南第一興商	(株)京阪第一興商
(株)常磐第一興商	(株)長野第一興商	(株)姫路第一興商
(株)群馬第一興商	(株)新潟第一興商	(株)九州第一興商
(株)北関東第一興商	(株)東海第一興商	

### その他国内子会社 7社

(株)ディーケーファイナンス	(株)ファーストディストリビューション
(株)ガウスエンタテインメント	(株)ディーケー音楽出版
日本クラウン	(株)丸萩洋酒工業
(株)徳間ジャパンコミュニケーションズ	

### 海外子会社 8社

(株)韓国第一興商	D. K. Enterprises (Guam), Inc.
第一興商(上海)電子有限公司	信昇(香港)有限公司
上海綜藝音楽娛樂有限公司	第一興商(香港)有限公司
Saha Daiichi Kosho Co.,Ltd.	Daiichi Kosho (Singapore) Pte Ltd.

(注) 1. Daiichi Kosho (Singapore) Pte Ltd. は休眠会社であります。  
 2. 第一興商(上海)電子有限公司は平成14年8月に、(株)ファーストディストリビューションは平成14年9月に新たに設立いたしました。  
 3. (株)北海道第一興商と(株)小樽第一興商は、平成15年4月1日付で合併し、(株)北海道第一興商が存続会社となっております。

## 株主メモ

決算期日	毎年3月31日
定時株主総会	毎年6月
上記基準日	定時株主総会については3月31日 その他必要あるときは、あらかじめ公告して臨時に基準日を定めます。
配当金受領株主確定日	利益配当金については3月31日 中間配当金については9月30日(当期は中間配当を実施しておりません。)
1単元の株式数	100株
公告掲載新聞	日本経済新聞
名義書換代理人	〒100-0005 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱信託銀行株式会社
事務取扱場所	〒100-0005 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱信託銀行株式会社 証券代行部
同連絡先	〒171-8508 東京都豊島区西池袋一丁目7番7号
(郵便物送付先)	三菱信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	電話 03 6391-1900 (代表)
同取次所	三菱信託銀行株式会社 全国各支店
証券・銘柄コード	7458

### <お知らせ>

1. 単元未満株式の買増制度の実施について  
当社は、平成15年7月1日より「単元未満株式の買増制度」を実施することといたしました。単元未満株式の買増請求は、当社名義書換代理人にて受付けいたしますので、ご請求方法等詳細は名義書換代理人にご照会ください。ただし、証券保管振替制度をご利用されている場合は、お取引の証券会社にお申し出ください。また、毎年9月30日および3月31日のそれぞれ12営業日前から当該日までの期間はお取扱いができませんので、ご留意ください。なお、単元未満株式の買取請求につきましても従来どおりお取扱いいたしております。
2. 株券失効制度について  
平成15年4月1日施行の商法改正により、「株券失効制度」が創設され、株券を喪失された場合の手续が従来の公示催告・除権判決に基づく再発行手続より簡便となりました。詳細は名義書換代理人にご照会ください。
3. 住所変更、配当金振込指定・変更、単元未満株式買取請求に必要な各用紙、及び株式の相続手続依頼書のご請求は、名義書換代理人のフリーダイヤル0120-86-4490で24時間承っておりますので、ご利用ください。
4. 配当金を郵便貯金口座へお振込みすることができるようになりました。お手続きには振込指定書のご提出が必要ですので名義書換代理人に指定書用紙をご請求ください。